笑顔幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り　令和２年６月18日

学校再開から…

度重なる臨時休校措置により、今年度は一体どうなるのだろうと不安しかなかった４月当初。

高知県での感染拡大が見られないことから５月１１日から学校を再開して、今日まで来ています。

休校中の子どもたちの生活する姿は、想像でしかありませんが、それぞれ新しい学年への思いや準備をして、しっかりと今を頑張っていることと思います。

３密を避けながらですが、いろいろな学校行事や授業が行われるようになりました。

先週の土曜日には、今年度初めての参観日があり多くの保護者のみな様には、子どもたちの頑張っている姿を見て頂けたのではないかと思います。

授業参観していると子どもたちはもちろんですが、今年初めて清水小学校にこられた先生の緊張感は痛いほど伝わってきました。

特に４月から教壇に立つようになった２人の先生にとっては緊張のしっぱなしだったと思いますが、授業を見る限りには、とても落ち着いているし、子どもたちの元気な声も響いており、保護者のみなさんは安心したのではないかと思います。

時間差での授業や救命救急講習会など、いろいろな面でご理解ご協力頂き、有り難うございました。

今週の火曜日からは水泳の授業も始まり、元気な姿を見ることができています。子どもたちの中には、今年度水泳ができるかどうかとても心配していた人もいたようですが、少しずつ通常の授業に戻りつつあることを本当にうれしく思います。

今後も感染予防には注意しながら、安心安全な取り組みを進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

◆◆◆注意してください◆◆◆

これまでは、感染症予防については、３密を防ぐこと、手洗いうがい、マスクの着用、検温などいろいろ気をつけてきましたが、これからは気をつけることがもっと多くなります。

一番は、熱中症対策です。最近では、屋内にいても熱中症になり、県外では亡くなっている人もおります。校内は換気やエアコンをつけ過ごしやすくはなっていますが、実際には分からないうちに身体の水分はなくなっています。適度に水分補給しながら気をつけて生活をしていきましょう。これまでにはマスクも付けてきましたが、時と場所によっては、マスクをのけての学習をすることにもなります。担任の先生からの指示に従って生活しましょう。

もう一つ気をつけてほしいことがあります。野外での水遊びです。ずいぶん暑くなってきたのでお家の人と海や川に遊びに行く機会が多くなると思います。そのような中、毎年のことですが、水の事故で命を亡くす人が少なくないということです。子どもたち同士で遊びに行き、遊んでいるうちに川や海に落ちたり、足を滑らせたりして事故にあうということです。

どの学校でもそうですが、遊びに行くときは行き先をきちんと伝えて行く、また子どもたちだけでは危ないようなところには行かないことも大切になります。

安全で楽しく遊ぶことについて、お家でもしっかり確認してください。

以上の２つの注意は、命に関わることです。しっかりと各家庭で話し合ってほしいものです。

人間の注意力

今年の４月も１年生を対象として、『かいしさくら』の前で命の大切さについて話をしました。清水小学校の児童であれば誰もが一度は聞いている話だと思います。

子どもたちは、そのことだけでなく担任の先生から、いろいろな機会で命の大切さについては学ぶし、ご家庭でもしっかりと話をしてくれていることと思います。

しかし問題となることや事故は様々な場面で起こります。機械やシステム、人工 AI がいくら進歩しても問題は起こります。いや機械やシステムが高度化・複雑化したからこそ一度問題が起きれば多大な被害になるのかも知れません。

車もそうです。ずいぶん安全性が高まりました。危険回避や事故が起こったときの対処機能も高くなっているのですが、実際に運転しているのは人間です。反応が遅れたりすることもあります。出来事に対しては絶対大丈夫ではありません。

先日、道路で遊んでいて、危ないので車にクラクションを鳴らされたという話がありました。すぐさま担任は、子どもたちに話をしたのですが、子どもたちは？？？だったそうです。

さてそれはどのようなことでしょうか。

実は、子どもたちは、歩道と信号機のついた横断歩道を使って『鬼ごっこ』をしていたというのです。担任の先生が、「道路で遊んで良いの？」と聞くと子どもたちからは、「歩道と横断歩道を使ってぐるぐる回りながら遊んでいるのです。道路で遊んでいません。」とのことでした。えっ！？横断歩道はどうろではないの？といった感じですが、保護者のみなさん、児童のみなさんはこの話を聞いて、その通り子どもたちの言うとおり〈道路では遊んでいません。〉と思う人がどのくらいいるでしょうか。

横断歩道はもちろんですが、歩道も含めて道路であると言うことを気付かずに遊んでいたとしても『気がつかなかった』ではすみません。運転していた人は、びっくりしたのはもちろんですが、何かあったときには車を運転していた人の責任になります。

何かあってからでは取り返しがつきません。人は夢中になると周りが見えなくなり、周りの出来事に対しての判断力が弱くなります。問題や事故の多くは、注意力を上げることで回避できることもあります。

今一度しっかり考えて行動できる清水小学校の児童であってほしいと思います。